作成日: 2014年02月12日
改訂日: 2015年04月08日

安全データシート

1. 化学品及び会社情報

化学品の名称 :
製品名称 : 2-プロパノール
製品番号(SDS NO) : 64605jis-2

供給者情報詳細
供給者 : 純正化学株式会社
住所 : 埼玉県越谷市大間野町1-6
担当部署 : 品質保証部
電話番号 : 048-986-6161
FAX : 048-989-2787
e-mail address : shiyaku-t@junsei.co.jp

2. 危険有害性の要約

製品のGHS分類、ラベル要素
GHS分類
物理化学的危険性
引火性液体:区分 2
健康に対する有害性
眼に対する重篤な損傷性又は眼刺激性:区分 2
生殖毒性:区分 2
特定標的臓器毒性(単回ばく露):区分 1(中枢神経系、全身毒性)
特定標的臓器毒性(単回ばく露):区分 3(気道刺激性)
特定標的臓器毒性(反復ばく露):区分 1(血液系)
特定標的臓器毒性(反復ばく露):区分 2(呼吸器、肝臓、脾臓)
(注)記載なきGHS分類区分:該当せず/分類対象外/区分外/分類できない
GHSラベル要素

注意喚起語:危険
危険有害性情報
引火性の高い液体及び蒸気
強い眼刺激
生殖能又は胎児への悪影響のおそれの疑い
中枢神経系、全身毒性の障害
呼吸器への刺激のおそれ
長期にわたる、又は反復ばく露による血液系の障害
長期にわたる、又は反復ばく露による呼吸器、肝臓、脾臓の障害のおそれ
注意書き
安全対策
使用前に取扱い説明書を入手すること。
全ての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。
熱/火花/裸火/高温などの着火源から遠ざけること。－禁煙。
容器を密閉しておくこと。
容器を接地しアースをとること。
防爆型の電気機器/換気装置/照明機器/その他機器を使用すること。
火花を発生させない工具を使用すること。

静電気放電に対する予防措置を講ずること。
粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーを吸入しないこと。
屋外又は換気の良い場所でのみ使用すること。
取扱い後は汚染個所をよく洗うこと。
保護手袋/保護眼鏡/顔面保護具を着用すること。
保護手袋及び保護面を着用すること。
指定された個人用保護具を使用すること。
この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。

応急措置
火災に際しては指定された消火剤を使用する。
気分が悪いときは、医師の診断/手当てを受けること。
ばく露又はばく露の懸念がある場合：医師の診断/手当てを受けること。
気分が悪いときは医師に連絡すること。
ばく露又はばく露の懸念がある場合：医師に連絡すること。
吸入した場合：空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。
皮膚(又は髪)に付着した場合：直ちに汚染された衣類を全て脱ぐこと。皮膚を流水/シャワーで洗うこと。
眼に入った場合：水で数分間注意深く洗うこと。コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。
眼の刺激が続く場合：医師の診断/手当てを受けること。

貯蔵
換気の良い場所で保管すること。容器を密閉しておくこと。涼しいところに置くこと。
施錠して保管すること。

廃棄
内容物/容器を地方/国の規則に従って廃棄すること。

物理的及び化学的危険性
非常に燃えやすい液体である。蒸気が滞留すると爆発の恐れがある。

---

3. 組成及び成分情報

単一製品・混合物の区別 :
化学物質
慣用名、別名 : イソプロピルアルコール
成分名:2-プロパノール
含有量(%):99.5 <
化学式:C3H8O
化審法番号:2-207
CAS No.:67-63-0
MW:60.10
ECNO:200-661-7
化審法:優先評価化学物質

---

4. 応急措置

応急措置の記述
一般的な措置
気分が悪いときは、医師の診断/手当てを受けること。
ばく露又はばく露の懸念がある場合：医師の診断/手当てを受けること。
気分が悪いときは医師に連絡すること。
ばく露又はばく露の懸念がある場合：医師に連絡すること。
ばく露した場合：医師に連絡すること。
吸入した場合
空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。
気分が悪いときは医師に連絡すること。
皮膚(又は髪)に付着した場合

直ちに汚染された衣類を全て脱ぐこと。皮膚を流水/シャワーで洗うこと。
皮膚刺激又は発しん(疹)が生じた場合:医師の診断/手当てを受けること。
眼に入った場合
水で数分間注意深く洗うこと。コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。
眼の刺激が続く場合:医師の診断/手当てを受けること。
飲み込んだ場合
口をすすぐこと。無理に吐かせないこと。
気分が悪いときは医師に連絡すること。

5. 火災時の措置

消火剤
適切な消火剤
火災の場合は泡、粉末、炭酸ガス、大量の水を使用すること。
特有の危険有害性
加熱すると容器が爆発するおそれがある。
火災によって刺激性、有毒及び/又は腐食性のガスを発生するおそれがある。
消火水や希釈水が汚染を引き起こすおそれがある。
消火を行う者への勧告
特有の消火方法
関係者以外は安全な場所に退去させる。
霧状水により容器を冷却する。
消火を行う者の保護
防火服/防炎服/耐火服を着用すること。
耐熱手袋/保護眼鏡/保護面を着用すること。
消火作業従事者は全面型陽圧の自給式呼吸保護具を着用する。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置
回収が終わるまで充分な換気を行う。
適切な保護具を着用する。
環境に対する注意事項
上水源、河川、湖沼、海洋、地下水に漏洩しないようにする。
封じ込め及び浄化の方法及び機材
不活性の物質(乾燥砂、土など)に吸収させて、容器に回収する。
二次災害の防止策
漏出物を回収すること。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い
技術的対策
(取扱者のばく露防止)
粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーを吸入してはならない。
(火災・爆発の防止)
熱/火花/裸火/高温のもののような着火源から遠ざけること。－禁煙。
容器を接地しアースをとること。
防爆型の電気機器/換気装置/照明機器/その他機器を使用すること。
火花を発生させない工具を使用すること。
静電気放電に対する予防措置を講ずること。
局所排気、全体換気
排気/換気設備を設ける。

注意事項
皮膚に触れないようにする。
眼に入らないようにする。
蒸気、ミスト、ガスを吸入しないこと。
安全取扱注意事項
使用前に取扱説明書を入手すること。
全ての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。
屋外又は換気の良い場所でのみ使用すること。
保護手袋、保護衣又は保護面を着用すること。
保護手袋及び保護面を着用すること。
保護眼鏡/保護面を着用すること。
指定された個人用保護具を使用すること。
取扱中は飲食、喫煙してはならない。
配合禁忌等、安全な保管条件
適切な保管条件
換気の良い場所で保管すること。容器を密閉しておくこと。
涼しいところに置き、日光から遮断すること。
施錠して保管すること。

8. ばく露防止及び保護措置

管理指標
管理濃度
作業環境評価基準(2004) <= 200 ppm
許容濃度
日本産衛学会(1987) (最大値) 400ppm; 980mg/m3
ACGIH(2001) TWA: 200ppm
STEL: 400ppm (眼および上気道刺激; 中枢神経系損傷)
OSHA-PEL
TWA 400ppm, 980mg/m3
ばく露防止
設備対策
適切な換気のある場所で取扱う。
洗眼設備を設ける。
手洗い/洗顔設備を設ける。
保護具
呼吸用保護具
空気呼吸器(SCBA)を着用する。
手の保護具
保護手袋を着用する。
眼の保護具
保護眼鏡/顔面保護具を着用する。
衛生対策
取扱い後は汚染個所をよく洗うこと。
この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。

9. 物理的及び化学的性質

基本的な物理的及び化学的性質に関する情報
物理的状態
形状 : 液体
色 : 無色透明
臭い : 特有臭
pHデータなし

物理的状態が変化する特定の温度/温度範囲
　初留点/沸点 ：83℃
　融点/凝固点 ：-90℃
　分解温度データなし
　引火点 ：(密閉式)11.7℃
　自然発火温度 ：456℃
　爆発特性 ： 引火又は爆発範囲
　　下限 ：2.0vol %
　　上限 ：12.7vol %(93℃)
　蒸気圧 ：4.4 kPa （20℃）
　相対蒸気密度(空気=1)：2.1
　20℃での蒸気/空気混合気体の相対密度(空気＝1)：1.05
　比重/密度 ：0.784～0.787g/ml(20℃)
　溶解度
　　水に対する溶解度 ： 混和する
　　溶媒に対する溶解度 ： エタノール及びジエチルエーテルに極めて溶けやすい。
　n-オクタノール／水分配係数 ：log Pow0.05

10. 安定性及び反応性

化学的安定性
　　通常の保管条件/取扱い条件において安定である。
　　引火性が高い。
危険有害反応可能性
　　この蒸気は空気とよく混合し、爆発性混合物を生成しやすい。
　　強力な酸化剤と反応する。
　　ある種のプラスチックやゴムを侵す。
避けるべき条件
　　混触危険物質との接触。
　　裸火、加熱
混触危険物質
　　強酸化性物質
危険有害な分解生成物
　　炭素酸化物

11. 有害性情報

毒性学的影響に関する情報
急性毒性
　急性毒性（経口）
　　[日本公表根拠データ]
　　rat LD50＝5480 mg/kg (EHC 103, 1990)
　急性毒性（経皮）
　　[日本公表根拠データ]
　　rabbit LD50=12870 mg/kg (EHC 103, 1990)
　急性毒性（吸入）
　　[日本公表根拠データ]
　　vapor; rat LD50=72.6 mg/L/4hr(29512 ppmV) (EHC 103, 1990et al)
局所効果
　皮膚腐食性・刺激性
　　[日本公表根拠データ]
　　ラビット：刺激性なし又は軽度の刺激性 (PATTY 6th, 2012et al)
　眼に対する重篤な損傷・刺激性
　　[日本公表根拠データ]

ラビット：軽度から重度の刺激性 (PATTY 6th, 2012et al)
感作性データなし
生殖細胞変異原性データなし
催奇形性データなし
発がん性
IARC-Gr.3 : ヒトに対する発がん性については分類できない
ACGIH-A4(2001) : ヒト発がん性因子として分類できない
生殖毒性
[日本公表根拠データ]
cat.2; PATTY 6th, 2012
短期ばく露による即時影響、長期ばく露による遅延/慢性影響
特定標的臓器毒性
特定標的臓器毒性(単回ばく露)
[区分1]
[日本公表根拠データ]
中枢神経系、全身毒性（ 環境省リスク評価第6巻, 2005 ）
[区分3(気道刺激性)]
[日本公表根拠データ]
気道刺激性（ 環境省リスク評価第6巻, 2005 ）
特定標的臓器毒性(反復ばく露)
[区分1]
[日本公表根拠データ]
血液系（ EHC 103, 1990 ）
[区分2]
[日本公表根拠データ]
呼吸器、肝臓、脾臓（ EHC 103, 1990 ）
吸引性呼吸器有害性データなし

12. 環境影響情報
生態毒性
水生毒性
水生毒性(急性) 成分データ
[日本公表根拠データ]
魚類(メダカ) LC50 > 100 mg/L/96hr (環境庁生態影響試験, 1997)
水生毒性(長期間) 成分データ
[日本公表根拠データ]
甲殻類 (オオミジンコ)NOEC > 100 mg/L/21days (環境庁生態影響試験, 1997)
水溶解度
In water, infinitely soluble (25℃) (HSDB, 2013)
残留性・分解性
急速分解性があり (BODによる分解度：86% (既存点検, 1993))
生体蓄積性
log Pow=0.05 (ICSC, 1999)

13. 廃棄上の注意
廃棄物の処理方法
内容物/容器を地方/国の規則に従って廃棄すること。
中身及び容器の廃棄は、都道府県知事の許可を受けた産業廃棄物の処理業者に依頼する。

14. 輸送上の注意
国連番号、国連分類

番号 : 1219
品名（国連輸送名） :イソプロパノール、(イソプロピルアルコール)
国連分類（輸送における危険有害性クラス） : 3
容器等級 : II
指針番号 : 129
バルク輸送におけるMARPOL条約附属書II 改訂有害液体物質及びIBCコード
有害液体物質(Z類)
2-プロパノール

15. 適用法令

当該製品に特有の安全、健康及び環境に関する規則/法令
毒物及び劇物取締法に該当しない。
労働安全衛生法
第2種有機溶剤等
2-プロパノール
名称表示危険/有害物（令18条）
2-プロパノール(区分内番号2の3)
別表第1 危険物 （第1条、第6条、第15条関係）
危険物・引火性の物 (0℃ <= 引火点 < 30℃)
名称通知危険/有害物（第57条の2、令第18条の2別表9）
2-プロパノール(区分内番号494)
化学物質管理促進(PRTR)法に該当しない。
消防法
第4類 引火性液体アルコール類 危険等級 II
化審法
優先評価化学物質
2-プロパノール(政令番号102 人健康影響)
船舶安全法
引火性液体類 分類3
航空法
引火性液体 分類3

16. その他の情報

参考文献

Globally Harmonized System of classification and labelling of chemicals, (5th ed., 2013), UN
Recommendations on the TRANSPORT OF DANGEROUS GOODS 18th edit., 2013 UN
Classification, labelling and packaging of substances and mixtures (table3-1 ECNO6182012)
2012 EMERGENCY RESPONSE GUIDEBOOK(US DOT)
2014 TLVs and BEIs. (ACGIH)
http://monographs.iarc.fr/ENG/Classification/index.php
JIS Z 7253 (2012年)
Supplier's data/information
化学物質総合情報提供システム（CHRIP）（NITE） http://www.safe.nite.go.jp/japan/db.html
事業者向けGHS分類ガイダンス（平成２５年度改訂版,経済産業省）

責任の限定について

本記載内容は、現時点で入手できる資料、情報データに基づいて作成しており、新しい知見によって改訂される事があります。また、注意事項は通常の取扱いを対象としたものであって、特殊な取扱いの場合には十分な安全対策を実施の上でご利用ください。
ここに記載されたデータは最新の知識及び経験に基づいたものです。安全性データシートの目的は当該製品を安全に取り扱って頂くための情報を提供するものです。ここに記載されたデータは製品の性能について何ら保証するものではありません。
ここに記載したGHS分類区分の算定根拠は現時点における日本公表データです。